

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田水産事務所	氏名	山元 祐貴
派遣先 団体名	邑南町公民館連絡協議会		
<p>① 研修の日時</p> <p>(1) おおなんサマーボランティアリーダー研修 8月20日(水)8:30～21日(木)12:00(1泊2日)</p> <p>(2) しまね映画塾inおおなん 10月5日(日)9:30～16:30</p> <p>(3) 邑南町公民館研究交流集会 12月6日(土)9:00～13:40</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>(1) 「おおなんサマーボランティアリーダー研修」 邑南町では、邑南町の良さを学ぶことを目的として、町内の子どもたちを対象に1泊2日で「おおなんサマーボランティアリーダー研修」を開催しています。 活動初日は、まず、ふるさと学芸員から地元の庄屋である山崎家についての話を聞き、その後、子どもたちが主役となり、役者やスタッフとして山崎家を題材にした映画(時代劇)の撮影を行い、映画撮影後、子供たちは町内の農家の方の家へ泊まり、交流を深めました。 2日目は、日貫公民館に集合して、社会福祉協議会の方から福祉についての話を聞いた後、前日に撮影した映画の上映会を行いました。 私は、子どもたちの補助が担当であり、映画のエキストラなど様々な活動に参加をさせていただきました。</p> <p>(2) 「しまね映画塾inおおなん」 『白い船』などの作品で知られる、島根県出身の映画監督の錦織良成氏を塾長に「しまね映画塾inおおなん」が開かれました。 「しまね映画塾inおおなん」では、邑南町を舞台にして、参加者が協力しながら脚本・撮影・編集など一から5分間の映画を作り、上映後は錦織監督から講評をいただきました。 私は脚本と監督を担当しましたが、映画撮影を進めていく中で地域の方々との交流も深まっていき、改めて邑南町の魅力を感じる事が出来ました。</p> <p>(3) 「邑南町公民館研究交流集会」 邑南町では、年末に地域の方々を集めて、町内各地の公民館の活動報告会として「邑南町公民館研究交流集会」を開いています。 今年は出羽公民館で開催されました。午前中はアトラクション(町立高原小の教頭先生によるアルゼンチンの音楽紹介)や事例発表(日和公民館、田所公民館による発表。テーマ:「日本一</p>			

の公民館をめざした3年間の振り返り)、基調講演(山口大学の先生による講演。演題:「人口減少時代の地域づくりと公民館」)などが行われました。

午後からは、8月に行われた「おおなんサマーボランティアリーダー研修」の様子を写したDVDを上映しながら、町内の公民館で定期的に行われている「男の料理教室」の成果発表品の料理(カレーライス、芋ようかん、コーヒーゼリー)が振る舞われました。

私は会場受付等を担当しながら、今回の活動報告会に参加しましたが、そこで多くの方々の話を聞く中で、改めて邑南町の公民館活動に対する熱を感じる事が出来ました。

### ③ 研修の感想

私自身、今年4月の人事異動で初めて石見地域に住むことになり、これまでとは違ったさまざまな場所から島根県を見てみようと思っていたところ、石見地域での職員短期派遣研修の話があり、良い機会だと思い参加しました。その中でも邑南町は町をあげて定住に向け様々な取組みをしていると聞いていたため、邑南町での研修を希望しました。

今回この研修に参加をして感じたことは、職員と住民の距離の近さです。また地域の方々も含め、邑南町の方々には大変お世話になり、とても面倒見のいい優しい素敵な町だという印象を受けました。

県下59あった市町村数は、市町村合併により19にまとめられ、ともすれば遠くなりがちな行政と住民の距離を邑南町では公民館を活用することで近い距離を保とうとしており、地域の風土や人と密着しながら地域づくりに取り組んでおられました。

このことは地域の魅力の向上につながり、中山間地域における人口問題解決の重要なベースになるものだと思います。

現在、地方の人口問題に対して、改めてその深刻さに光が当てられ、国を挙げて解決していこうという機運が高まっていますが、比較的財政規模が小さい市町村が、できる範囲で過疎や高齢化などさまざまな問題に対し、真剣に向き合っている中、比較的財政規模の大きい県はどのような形でそれらの問題に向き合っていくべきなのかということについて、この研修を受けたことで、改めて考えさせられました。

その結果、私は少なくとも市町村と同じようなことをしては県が存在している意味がないと感じました。

そもそも市町村と県では各々強みと弱みがあり、お互い補完し合う関係だと思います。そして、その両者が責任を持って力を出し合い、目先を変えてごまかすようなことはせず、どのようにすればそこに住んでいる人がより生活しやすい場所にできるか、我慢や無理をせずにそこに住み続けることができるかということについて真摯に向き合い続けることが大事だと思います。

これは都会のメディアが取り上げたがるような革新的な答えではないですが、都市住民に対するインパクトや知名度向上に偏重するのではなく、今実際にそこに住んでいる人の生活環境を向上していくことが長期的には地方の人口問題の解決につながり、それこそが今地方の市町村や県に求められていることではないかと思います。

私は今回の邑南町での研修に参加し、そこでさまざまな方と話をしたことで、改めて行政職員として大切なことは何か考えることができ、大変よい経験をする事ができました。

最後になりましたが、お忙しい中、快く受け入れていただき、多くの貴重な経験をさせていただいた邑南町のみなさまに深く感謝いたします。本当にありがとうございました！

### ④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。